

研 究 分 野	増養殖技術	部 名	磯根資源部
研 究 課 題 名	佐井地域環境生態系保全活動支援調査実証事業		
予 算 区 分	水産業企画調査費（国委託 10／10）		
試験研究実施年度・研究期間	H20		
担 当	桐原 慎二		
協 力 ・ 分 担 関 係	水産振興課、むつ水産事務所		

〈目的〉

佐井漁業協同組合が組織する佐井地域環境生態系保全活動の会が佐井沿岸で行う環境保全活動の体制を整えるとともに、活動の実態と効果を把握する。

〈結果の概要・要約〉

1 環境保全活動体制の整備

① 協議会の組織

平成 20 年 5 月 28 日に、佐井地域環境生態系保全活動の会を指導、監督するため、専門家、県組織、地元自治体、漁業者代表者からなる、「下北地域環境・生態系保全活動推進協議会」を組織した。協議会において、佐井地域環境生態系保全活動試行的活動計画の策定を策定するとともに、効果的な活動が展開できるよう助言・指導した。

② 環境保全研修会の開催

平成 21 年 3 月 12 日に、環境保全活動にあたる人材を養成するため、佐井村漁業協同組合においてコンブ藻場の保全研修会を開催した。

2 環境保全活動の実態把握

① 漁業者によるウニ駆除活動

平成 20 年 6 月 8 日～6 月 13 日にかけて、原田、佐井、矢越、磯谷、長後、福浦地区の漁業者が、ウニ籠漁具を用いて水深 10～20mにある磯焼け海域から籠漁具を用いてキタムラサキウニを表 1 のとおり計 19.7 トンを駆除し、各地先の水深 5m前後の雑海藻場に移植した。

表 1 佐井沿岸における漁業者によるキタムラサキウニ除去量（kg）と活動に参加した漁船数

地区	平成20年6月8日		平成20年6月9日		平成20年6月10日		平成20年6月11日		平成20年6月12日		平成20年6月13日		合計	
	駆除量	隻数	駆除量	隻数	駆除量	隻数	駆除量	隻数	駆除量	隻数	駆除量	隻数	駆除量	隻数
原田	543	29	420	29			433	29	448	29	227	29	2,071	145
佐井	605	42	720	42	990	42	960	42	1,240	42			4,515	210
矢越	838	25	725	25	857	25	926	25	1,131	25			4,477	125
磯谷	895	38	585	38	720	38	800	38	830	38			3,830	190
長後	252	16	228	16	180	16	228	16	144	16			1,032	80
福浦	710	33	785	33	550	33	760	33	965	33			3,770	165
計	3,843	183	3,463	183	3,297	154	4,107	183	4,758	183	227	29	19,695	915

② 潜水によるウニ駆除活動

平成 19 年度に佐井村漁業協同組合がキタムラサキウニを潜水駆除した磯谷地先の 8,600 m²の範囲のうち、再びキタムラサキウニが蛸集した場所とその沖側にあたる 5,000 m²（100m×50m）の磯焼け海域から、平成 20 年 12 月 3 日から 14 日にかけての 6 日間に 23,450 個体のキタムラサキウニを駆除し、水深 4～5mにある雑海藻場に移植した。

表 2 佐井漁業協同組合による潜水によるキタムラサキウニ駆除数と面積

月日	作業員		作業船	駆除面積 (m ²)	駆除したキタムラ サキウニの個体数
	ダイバー	船上作業			
平成20年12月3日	3	2	2	500	3,850
平成20年12月4日	3	2	2	750	3,150
平成21年12月9日	4	2	2	750	3,850
平成20年12月10日	4	2	2	1,000	4,900
平成20年12月11日	4	2	2	1,250	3,500
平成20年12月14日	3	2	2	750	4,200
計	21	12	12	5,000	23,450

③ ウニ餌料用コンブ人工種苗生産

佐井村漁業協同組合が運営する栽培漁業施設において、1,800m のマコンブ人工種苗を生産し、平成 20 年 11 月 26 日に長後地区、12 月 12 日牛滝、福浦地区、12 月 15 日に佐井、矢越、磯谷地区、平成 21 年 1 月 8 日に原田地区の漁業者にそれぞれ 240m ずつ配布した。

④ ウニ給餌活動

平成 20 年 11 月 26 日に長後地区、12 月 12 日牛滝、福浦地区、12 月 15 日に佐井、矢越、磯谷地区、平成 21 年 1 月 8 日に原田地区の漁業者が、それぞれウニの移植場所に設置した 100m の延縄式コンブ養殖施設にマコンブ人工種苗を結着、沖出した。

2 環境保全活動の効果調査

平成 21 年 3 月 1 日、2 日に、佐井地先でキタムラサキウニが駆除された場所に潜水し、海藻生育状況を調べた。この結果、漁業者が籠漁具によってキタムラサキウニを除去された場所は、キタムラサキウニが蛸集し、直立海藻の生育が認められなかったが、潜水によって駆除した場所にはマコンブの幼体が認められるとともに、アカモク、ケウルシグサなどの大型褐藻の生育が観察された。

〈結果の発表・活用状況等〉

- ・ 平成20年度佐井地域環境生態系保全活動支援調査実証事業効果調査結果報告書
- ・ 佐井地域環境生態系保全活動推進事業研修会